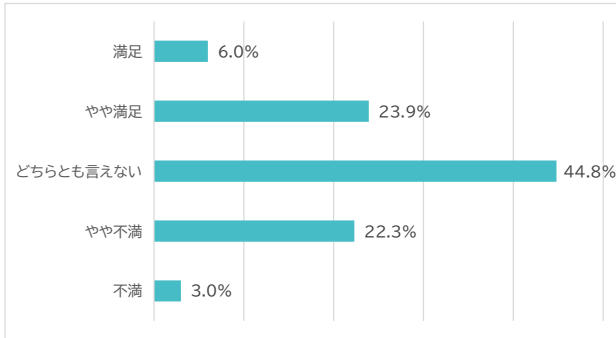


文化団体アンケート

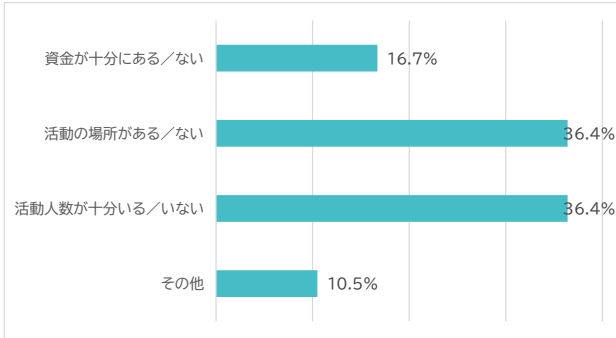
資料②-2

Q1 現在の文化芸術活動について、どの程度満足していますか



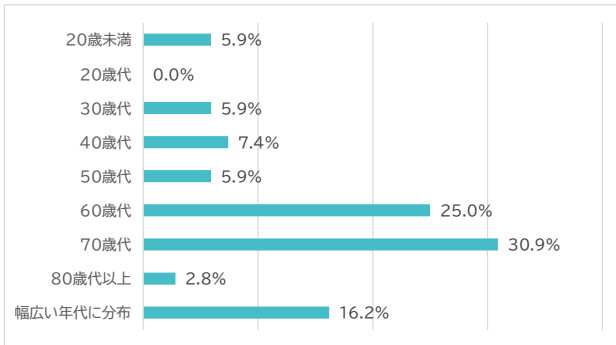
	回答数	構成比	前回
満足	4	6.0%	—
やや満足	16	23.9%	—
どちらとも言えない	30	44.8%	—
やや不満	15	22.3%	—
不満	2	3.0%	—

Q2 Q1で回答した理由をお答えください



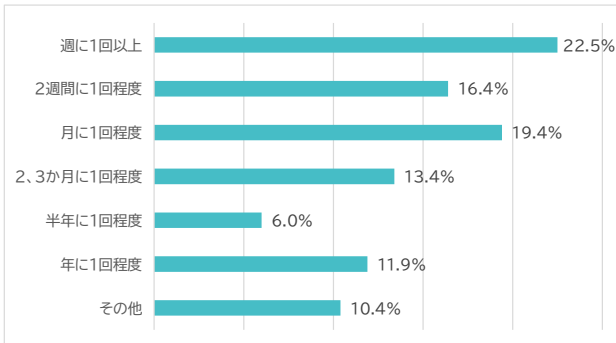
	回答数	構成比	前回
資金が十分にある／ない	11	16.7%	—
活動の場所がある／ない	24	36.4%	—
活動人数が十分いる／いない	24	36.4%	—
その他	7	10.5%	—

Q3 構成メンバーのうち、一番多い年代をお答えください



	回答数	構成比	前回
20歳未満	4	5.9%	2.3%
20歳代	0	0.0%	0.0%
30歳代	4	5.9%	1.1%
40歳代	5	7.4%	4.6%
50歳代	4	5.9%	11.5%
60歳代	17	25.0%	23.0%
70歳代	21	30.9%	33.3%
80歳代以上	2	2.8%	4.6%
幅広い年代に分布	11	16.2%	19.5%

Q4 活動回数に近いものをお答えください

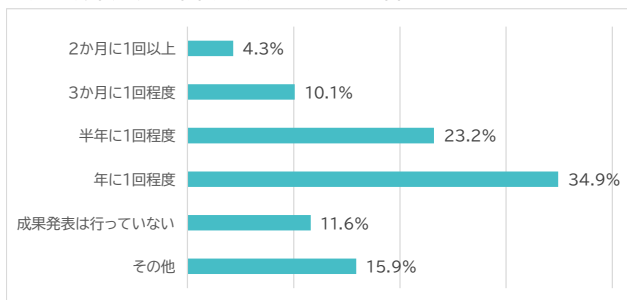


	回答数	構成比	前回
週に1回以上	15	22.5%	19.1%
2週間に1回程度	11	16.4%	22.5%
月に1回程度	13	19.4%	13.5%
2、3か月に1回程度	9	13.4%	15.7%
半年に1回程度	4	6.0%	10.1%
年に1回程度	8	11.9%	3.4%
その他	7	10.4%	6.7%

Q5 練習や創作などの活動場所として、主に利用している施設をご記入ください。
例：プラバホール、〇〇公民館、自宅など

公民館
小学校
自社スタジオ
プラバホール
島根県民会館
市民活動センター
自宅
島根県立美術館
地元公会堂
事務所
会員所有の施設
くにびきメッセ
自宅工房
松江テルサ
社会福祉センター
集会所
神社社務所
寺
個人所有の稽古場
町内
秋鹿道の駅
島根県立武道館
松江工業高校剣道場・柔道場
旧県立プール跡地広場
東出雲商工会
神社

Q6 成果発表の回数に近いものをお答えください

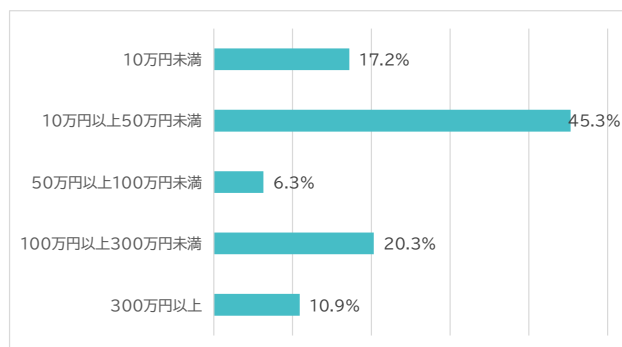


	回答数	構成比	前回
2か月に1回以上	3	4.3%	7.0%
3か月に1回程度	7	10.1%	11.6%
半年に1回程度	16	23.2%	22.1%
年に1回程度	24	34.9%	24.4%
成果発表は行っていない	8	11.6%	10.5%
その他	11	15.9%	9.3%

Q7 成果発表の場所で主に利用している施設をご記入ください

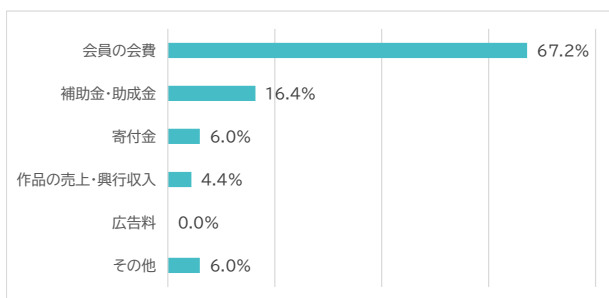
島根県民会館
プラバホール
公民館
島根県立美術館
松江テルサ
小学校(市内、県内)
安来市総合文化ホールアルテピア
神社
STICビル
サンラポーむらくも
ホテル
多岐伝承館
県立武道館
松江歴史館
旧県立プール跡地広場
くにびきメッセ
サンライフ松江
茶道会館
ホテル等の和室
菅田庵
スタジオ
能楽堂
興雲閣
松江城山広場

Q8 1年間の活動予算をお答えください



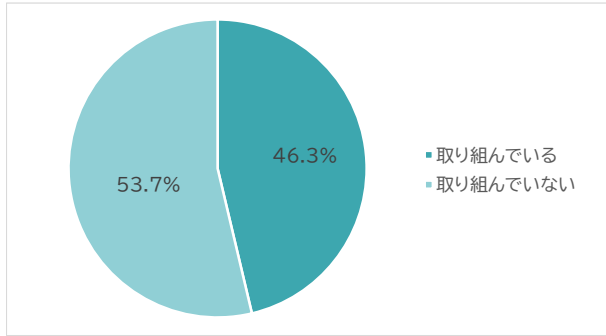
	回答数	構成比	前回
10万円未満	11	17.2%	16.3%
10万円以上50万円未満	29	45.3%	40.7%
50万円以上100万円未満	4	6.3%	17.4%
100万円以上300万円未満	13	20.3%	8.1%
300万円以上	7	10.9%	17.4%

Q9 運営費の主な原資をお答えください



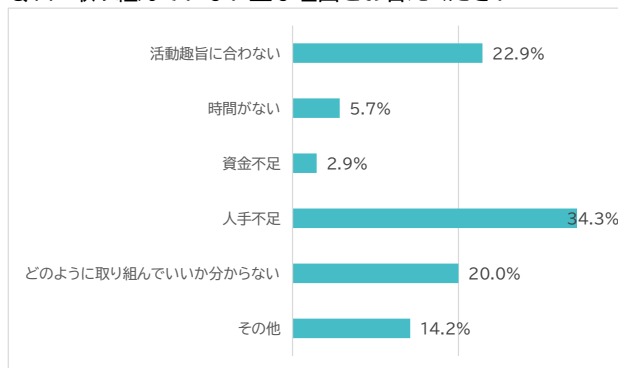
	回答数	構成比	前回
会員の会費	45	67.2%	49.0%
補助金・助成金	11	16.4%	21.3%
寄付金	4	6.0%	10.3%
作品の売上・興行収入	3	4.4%	8.4%
広告料	0	0.0%	1.9%
その他	4	6.0%	9.0%

Q10 地域や学校に出向いて行う活動に取り組んでいますか



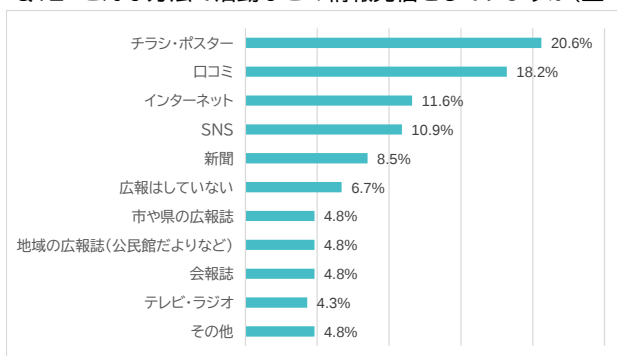
	回答数	構成比	前回
取り組んでいる	31	46.3%	51.1%
取り組んでいない	36	53.7%	48.9%

Q11 取り組んでいない主な理由をお答えください



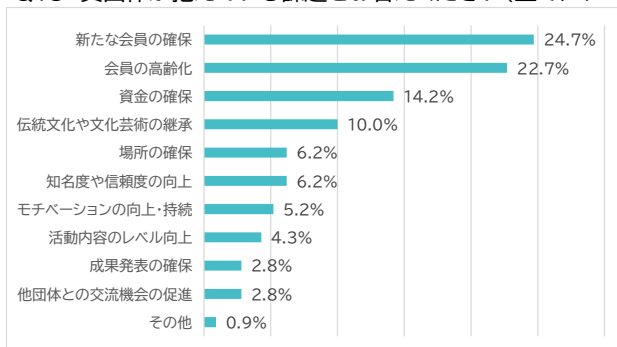
	回答数	構成比	前回
活動趣旨に合わない	8	22.9%	2.3%
時間がない	2	5.7%	11.6%
資金不足	1	2.9%	0.0%
人手不足	12	34.3%	30.2%
どのように取り組んでいいかわからない	7	20.0%	25.6%
その他	5	14.2%	30.2%

Q12 どんな方法で活動などの情報発信をしていますか(全てにチェックしてください)



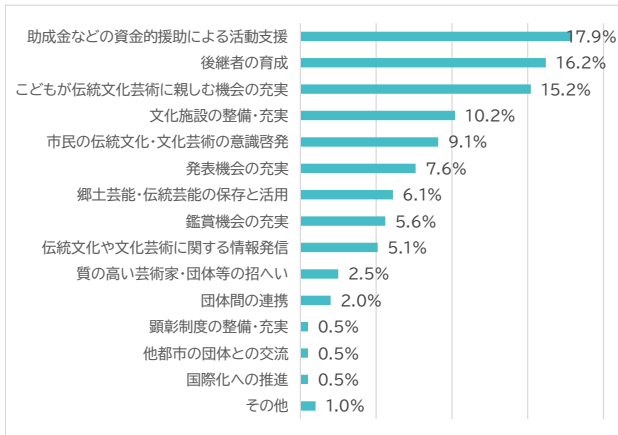
	回答数	構成比	前回
チラシ・ポスター	34	20.6%	26.7%
口コミ	30	18.2%	15.6%
インターネット	19	11.6%	10.7%
SNS	18	10.9%	7.4%
新聞	14	8.5%	9.0%
広報はしていない	11	6.7%	4.9%
市や県の広報誌	8	4.8%	5.7%
地域の広報誌(公民館だよりなど)	8	4.8%	5.3%
会報誌	8	4.8%	7.4%
テレビ・ラジオ	7	4.3%	3.7%
その他	8	4.8%	3.7%

Q13 貴団体が抱えている課題をお答えください(全てにチェックしてください)



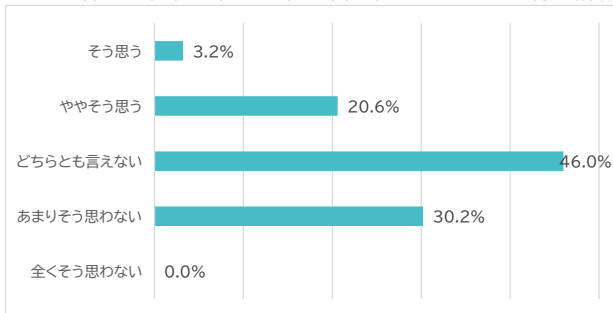
	回答数	構成比	前回
新たな会員の確保	52	24.7%	24.5%
会員の高齢化	48	22.7%	23.1%
資金の確保	30	14.2%	10.0%
伝統文化や文化芸術の継承	21	10.0%	6.9%
場所の確保	13	6.2%	6.2%
知名度や信頼度の向上	13	6.2%	4.1%
モチベーションの向上・持続	11	5.2%	3.1%
活動内容のレベル向上	9	4.3%	3.1%
成果発表の確保	6	2.8%	3.4%
他団体との交流機会の促進	6	2.8%	0.7%
その他	2	0.9%	2.4%

Q14 伝統文化や文化芸術を振興するために何が重要と考えますか(3つにチェックしてください)



	回答数	構成比	前回
助成金などの資金的援助による活動支援	35	17.9%	20.4%
後継者の育成	32	16.2%	9.3%
子どもが伝統文化芸術に親しむ機会の充実	30	15.2%	10.2%
文化施設の整備・充実	20	10.2%	12.8%
市民の伝統文化・文化芸術の意識啓発	18	9.1%	7.5%
発表機会の充実	15	7.6%	7.1%
郷土芸能・伝統芸能の保存と活用	12	6.1%	6.6%
鑑賞機会の充実	11	5.6%	4.0%
伝統文化や文化芸術に関する情報発信	10	5.1%	13.3%
質の高い芸術家・団体等の招へい	5	2.5%	4.0%
団体間の連携	4	2.0%	0.9%
顕彰制度の整備・充実	1	0.5%	1.8%
他都市の団体との交流	1	0.5%	1.3%
国際化への推進	1	0.5%	0.4%
その他	2	1.0%	0.4%

Q15 行政が伝統文化や文化芸術を振興するために行う情報発信について、十分に発信されていると考えますか

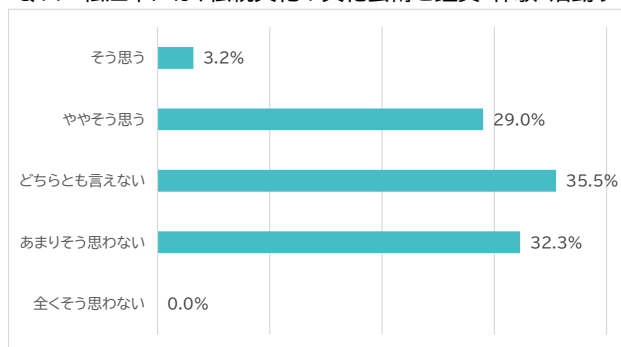


	回答数	構成比	前回
そう思う	2	3.2%	7.0%
ややそう思う	13	20.6%	27.9%
どちらとも言えない	29	46.0%	44.2%
あまりそう思わない	19	30.2%	18.6%
全くそう思わない	0	0.0%	2.3%

Q16 行政の情報発信が十分でないとする理由を記入してください

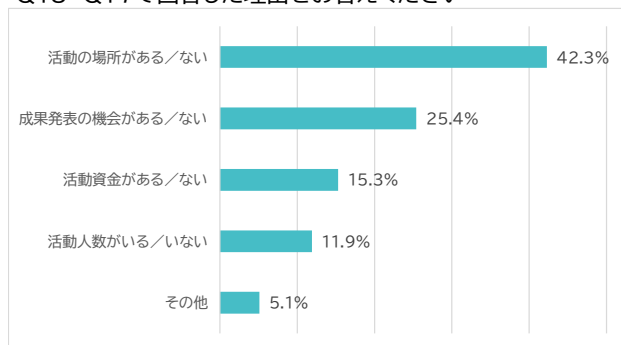
特に聞こえてこないから
そもそも情報を発信するだけが行政の目的となっていることを見直すべきだと思う。 高齢層の拠点は各地にあるが、若い世代の芸術文化交流拠点が無いため、発展的なコミュニケーションが行われにくい実情がある。 発展的なコミュニケーションが行われる場が創出できれば、場を仕切る人、熱心に参加する人など様々な役割が顕在化してくる。 そうすることで、彼らが自発的に発信してくれた方が、広がりが生まれる。 行政は行政という立場から離れることで、本当に必要なアクションが何かが見つかると思う。
市美展に出品する高校生・大学生が少ないのが気になります。地域の学生の参加を増やす取り組みをお願いしたい。
松江市の新庁舎が建設される時、庁舎内で人が集まるところが必要だと望みました。 それが無いとなれば残念です。
開催施設・発信力の拡大・充実。
広報誌やマールTV等での紹介が、きめ細かくなされていない
普段の生活の中で目につく情報が無いから。
市民にまかせるだけでは不十分。 行政から動く施策が必要。
広報誌に記してほしい 文化・観光協会のピーアール
音楽や芸能コンサート等の情報誌は、県民会館情報誌「シマカル」しかない。 市独自のコンサート、展示会等の情報誌を発行すべき。 市政だよりのイベント掲載ページを拡充するとか。
目にふれる機会がない。
目にする機会がありません。もしくは、気にとまらないということ
松江市の伝統文化が何であるか、よくわからない 伝統文化とは何か、どこで確認すれば良いか？
情報が散在している。他ジャンルが混在している事が多く埋もれて見つけにくい。
市の広報でイベントの情報掲載
伝統文化や歴史的なものの発信は見るが、実演芸術は少ないため

Q17 松江市には、伝統文化や文化芸術を鑑賞・体験・活動する環境が整っていると考えますか



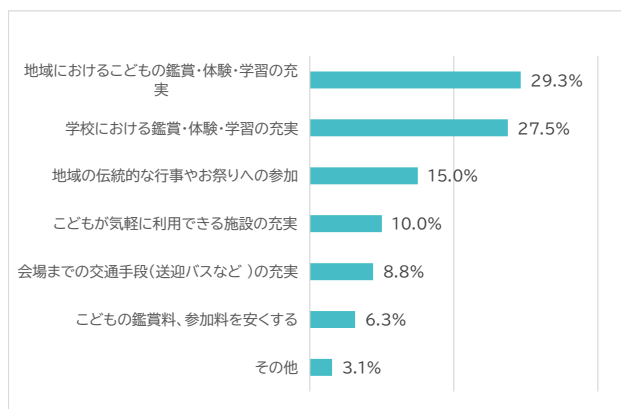
	回答数	構成比	前回
そう思う	2	3.2%	—
ややそう思う	18	29.0%	—
どちらとも言えない	22	35.5%	—
あまりそう思わない	21	32.3%	—
全くそう思わない	0	0.0%	—

Q18 Q17で回答した理由をお答えください



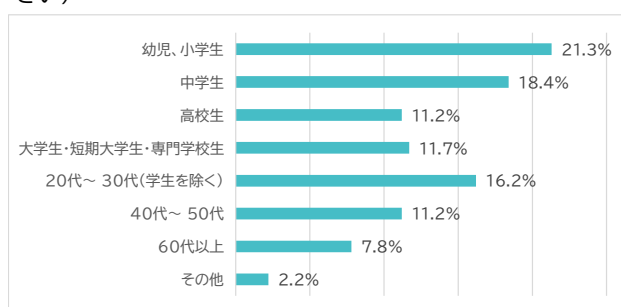
	回答数	構成比	前回
活動の場所がある／ない	25	42.3%	—
成果発表の機会がある／ない	15	25.4%	—
活動資金がある／ない	9	15.3%	—
活動人数がいる／いない	7	11.9%	—
その他	3	5.1%	—

Q19 こどもが伝統文化や文化芸術に親しむためには、どのようなことに力を入れる必要があると考えますか(全てにチェックしてください)



	回答数	構成比	前回
地域におけるこどもの鑑賞・体験・学習の充実	47	29.3%	22.2%
学校における鑑賞・体験・学習の充実	44	27.5%	31.0%
地域の伝統的な行事やお祭りへの参加	24	15.0%	18.2%
こどもが気軽に利用できる施設の充実	16	10.0%	11.8%
会場までの交通手段(送迎バスなど)の充実	14	8.8%	3.9%
こどもの鑑賞料、参加料を安くする	10	6.3%	9.4%
その他	5	3.1%	3.4%

Q20 伝統文化や文化芸術の振興を図るために、どの年代に対して重点的に取り組むといいと考えますか(3つにチェックしてください)



	回答数	構成比	前回
幼児、小学生	38	21.3%	22.2%
中学生	33	18.4%	20.8%
高校生	20	11.2%	15.1%
大学生・短期大学生・専門学校生	21	11.7%	12.3%
20代～30代(学生を除く)	29	16.2%	12.7%
40代～50代	20	11.2%	7.5%
60代以上	14	7.8%	7.5%
その他	4	2.2%	1.9%

Q21 現在、貴団体が活動する上での課題や困っているとこ等があれば、できるだけ具体的にご記入ください。また、今後松江市に期待する伝統文化芸術振興の取り組み等、ご意見やご要望があれば、できるだけ具体的にご記入ください

・10年に、一度の祭事に対して維持管理に、後継者づくり資金の確保に苦労をしている。
・プラバホールの駐車場が少なく困っています。少ないなかでも、ホールで演奏会を開催するのに、生協病院様のご協力をとっていただいた頃はありがたかったです。現在はそれも難しくなったそうです。出演者や関係者は来場者の駐車場を施設内に確保するために、別の有料駐車場を利用することになりますが、終日利用するので高額になります。主催者側で、近くの民間企業などの協力をお願いに奔走するなど調整にその都度負担がかかっております。 タクシーを含む公共交通の利用が難しくなるなか、抜本的な対策をご検討ください。 ・総合運動公園は関係団体からの要望により駐車場が再整備され拡充されるとのこと。プラバホールについても、利用者として要望することを考えて参ります。
・前述しましたが、核となる自由度の高いコミュニティが無いことがこの業界が発展しない原因だと考えています。 ・島根の美術業界は村社会となっており、完全なる縦社会である一面がある一方、私たちのように団体意識の少ないコミュニティは、純粋に芸術文化活動を研鑽する場として有意義かと考えています。 ・同じように様々な価値観で、様々な活動がさらに自由度高くできるようサポートしていただきたいです。
・活動資金
・少子化で文化系部活動人口が激減していること、また、経験者も大人になって社会人サークル活動に参加する方が少ないことが課題です。
・都会に比べて、地方は、プロによる生の芸術体験に触れる機会が少ない。文化の享受の格差がある。その機会を増やすには、財源が必要。プロのパフォーマーは、大体首都圏から来るので、地方で興行すると、公演料分の交通費がプラスで経費で必要。その交通費の部分だけでも、国が助成してくれる制度があると、格差が是正されるのではないだろうか。 ・経費が低いと、参加費も低く設定できる。
・600～800席のコンサートホールはプラバホールと県民会館中ホール。 ・両方とも単独施設ではないため駐車場が不足。 ・中心地でなくても駐車場が確保できる施設があると拠点として活用しやすい。 ・文化を生かしたまちづくり、が具体的にはどういう事が想像が難しい。
・普段の活動の場所(アトリエ)の充実 ・発表の会場(美術館)使用料が高額
・普段の活動の場所 ・発表する会場(美術館)の使用料
・誰でも自由に安く使えるアトリエがあると良いと考えます。 ・若い作家が交流し合えるとよいと思います。
・会員の高齢化と共に新加入者がいないこと。 ・市の支援には感謝している。
・祭典行事は日時、学校・地域行事は曜日で行うため、調整がむずかしい。
・小学校における将棋の普及活動への理解・協力体制に学校毎で差があると感じている
・高齢化
・子供達は、年々、部活、試験などで、人数が減少してきました。 ・部活は、学校で重要視され、子供達は、部活を選んでやめています。 ・続く子は、3才から、高校、大学となっても、月に、1～2回程度になっても、続けています。将来、どこかで、思い出して、どこかで、また、はじめることがあれば、それが継承につながるのかなと、考えています。
・県展で以前から水墨画は認められないようです。日本画の中で水墨画の項目が無いと聞いています。指導者(先生)がいらっしゃらないのでしょうか？
・会員・会費の確保、開催経費

当社は、箏(琴)・三絃(三味線)の演奏団体です。総じて高齢の年金生活者中心。 1. 適当な活動場所、練習場所が少ない。 ○公民館 ・団体中にその地区の住民が一定割合以上ないと「地区内」にならず、「地区外」扱いになる。そのため、予約の受付開始時期は地区内に比べて遅くなり(例えば、地区内は2～3か月前から予約できるが、地区外は1か月前でないと予約が取れないなど。)、予約が確定しないため活動予定が立てにくい。 ・また、利用価格についても優遇を受けられない。(当社は市内広域から会員が集まっているので、どの公民館を使っても割合が「地区内」にならない。松江市民なのに制約が多く、円滑に活動が進まない。) ○福祉センター ・公民館が使えないグループが集中して、競争率が高くなり、結果的に予約が取れないことが多々ある。(当社はボランティア団体に登録していることから利用料金を免除されているものの、部屋数が少ないため予約がとりにくい。) ・3階に和室の大広間があるが、空いていても休憩専用として音楽活動に貸してもらえず、もったいないと思う。 ○スティックビル ・会議用の部屋ばかりで、テーブル・イスで埋まっており、演奏活動に適した部屋がない。 ・駐車場があるが、部屋まで遠い。 (部屋まで遠くて楽器の運搬に苦労しがち。距離がある場所は、非常に使いにくい。) 2. 島根県学校支援事業(箏等)をしています。(主に松江市内小学校。今年度は5校) ・市(または学校)が保有する楽器(箏)が少ない。 3. 「琴(こ)子ども演奏教室」の取り組みについて(チラシあり) ・目下、掲題の活動を実施しているので、是非取材に来て、広報してください。(概要を記したチラシを添付します。)本アンケートがテーマにしている、まさに子どもに対する伝統文化の継承を企図した活動を個人レベルで実施しているものです。
・定期演奏会でブラバホールを利用することがあるが、演奏者やスタッフ用の駐車スペースが乏しい。
・別途の美保関新聞を参照してください(4面)。 ・文化財行政が国・県・他の市町村は教育委員会が管轄しており、意見交換などの交流会がやりにくい。また、学校教育の中で取り上げてもらいたい、二重手間になり、人間関係を作るのも面倒だ。
・ブラバホールでの演奏会の際、駐車台数が少なく来場者の方が困っている。
・会員の減員と高齢化
・松江市は文化(伝統)について、多方面、総合的に発信している。(発信に答えるべき力不足を感じ、また、感謝している。 ・以前と比し、振興が下降状態になる原因の1点は、就業年齢の延長化を考える。高齢化が働くことができる今日、時間を余暇にあてることは困難になる。(若い時から文化への地域への関心の持ち方への啓蒙が必要か?)
・ポスター等の貼場所の協力 ・町内会単位の団体ですが、1町内会では少子化・高齢化では、祭を継続することが難しい。 子供の参加を地域小学校の協力があれば。
1)活動するための場所 2)発表するための施設 3)関係先への交通便(バス〇〇)
・口伝で伝わっているため、現在の中心メンバーが活動できなくなれば、伝承していくことが難しい。既に、三味・太鼓は、地元の後継者がおらず、他地区から応援に来ていただいている状況。
・当会では、発表＝公演となりますため、①広報の機会としてHPへの掲載②会場使用料の減免など感謝しております。 この他の会場(市内)についても割引いただけますと幸いです。
・100名の合唱団であるが、練習場所(ミニホール)が必要。 ・県民会館の大会議室やブラバ大会議室であるが、県民会館は机が置いてあり、そこに座って練習するが、机が邪魔となる。 ・ブラバ大会議室も机が置いてあり、片づけては元にもどるのが大変。 ・ブラバは、駐車場が少なく、中高齢者が会員に多く、車の移動をしている人が、ほとんど。 ・ブラバでイベントがあるときは、駐車場が満杯である。 ・ピアノがあり、イスが100名程置ける練習場、駐車場のある場所が必要で。
・継承者が少なく、会員の40歳後半から70歳までの年齢で高齢化している。もっと若い人かちが参加し、時間をかけて技を継承させていきたい。また、継承する技を後世に残すため、書籍やDVDなどを作成することが大切であると考えているが、資金がないため、難しい。資金的援助があれば、作成することができる。 ・松江市の独特な伝統文化は、ぜひ後世に残してほしい。そのためには、資金的援助や情報発信をするなどして、知名度を上げてほしい。 ※松江には 素晴らしい文化がたくさんあります。その文化を市民は誇りに思い、後世に保存・継承できるように行政の力を借りたいと思います。
・会員の高齢化で次世代への芸の継承ができない。 ・そもそも継承する世代が育っていない。
・安定的は発表場所の確保 ・イベント情報のメディアを利用した広報活動(市単独ではなく)

・音楽部門、スポーツ部門は充実しているが、文芸部門が弱い。 ・島根県知事公舎が廃止されるのを受けて、松江市が譲り受けて、文化芸能のうち、文芸部門の諸団体活動の拠点として利用する。 ・島根県内には、他県(例:福井県のような文芸会館がない。恥ずかしい)
・幅広い年齢層の会員による演奏会として49回の演奏を終えたところです。 ・近年、若い方の参加もあり、聴衆の皆さまも若返ってはきていますが、演奏者も聴衆も今一番豊かな時期ではないかと思います。70代以上の方がお元気な間はいいのですが、40代から50代の皆さまは忙しく、ご来場が難しいのが現状です。演奏者も今はいいのですが、だんだんと時間をかけて身をつけてゆくものに対しての学びの習慣をつけるのが難しいのではと思います。子供の時に良いものに触れる機会沢山あればいいなと思い、無料の演奏会を応援しています。
・高齢化に伴い、会員数増加が、今のところ最も重要な課題です。 ・地域での活動、ボランティア活動にも以前できていたものが、活動人数が少なくなり、できなくなりました。 ・現在は、市民文化祭でちぎり絵講習を小学生対象に実施し、和紙の良さを広めています。今後のダイヤモンドの原石になってくれることを信じて、継いでいきたいと思っています。 ・活動の機会があれば「和紙ちぎり絵」の良さを広めてゆけると思うのですが…… ・県美での作品展も今年54年となります。ぜひ一度ご来場くださいませ。 (松江ちぎり絵サークル 小田川佳子)
Q16 行政の情報発信が十分でないと考え理由 →情報発信の仕方(若者向け・年配者向け) ・日本経済の衰退により、本当に必要な生活資金以外の部分(文化活動)にお金を使わなくなった(使えなくなった)。 ・地域における人口減少により、絶対数が少なくなった。 ・文化の多様性により、興味の対象が変わった。
運営側の人数が少なくなっている。 高齢化に伴う事務局長の体調不良等、役員(運営側)の負担が大きい。 演奏活動はボランティア精神を伴い、生きがいである分、体力の限界を感じる時がある。
・年3回の展示会の会場費が高い ・公民館で開催したいが、即売ができない→販売できるようにしてほしい
・会員への入会減少・会員の高齢化のため、伝統文化の継承が思うように進まない ・会員の増強等のため、情報発信が必要と思われるが、IT関連への技術が不足
・今の若い人は相撲を取ることにあまり興味がないのではないかな？ (見るスポーツになっている気がします) ・相撲を取ることに興味を持たずにはどうしたらよいか皆で考える必要があると思います
・市民文化祭では、関係者のみで完結している印象があるので、もう少し、多くの市民にお越しいただきたい。 ・いちばん感受性が育まれる時期に、日本文化に接してほしい。 ・奈良県等では、行政といけばなどがタイアップして、多くの行事を開催し、県内外からの集客である、 ・文化力を高めるということであれば、日本の伝統文化としての「いけばな」があるので、アレンジやフラワーデザインではなく、まず「いけばな」にお声がけいただきたい。 ・地域特産の花といけばななどのタイアップ。 ・いけばなは水を使用する場合、ほとんどのため、発表の場所が限られてしまう。養生することにより、展示可能な場所をひろげたい。 ・会議やイベントを実施する場所の整備。 ex.スティックビルの机、マイク等 草月流 増本市子
・子どもの文化芸術体験に格差が生まれないように取り組んでほしい。ブラバホールから遠い方ほどホールを知らない子が多いです。
・芸術分野の核を担う中心的な人材が継続的に活動するためにはプロの育成が必要だと思います。 ・産業振興と同様な考え方で、資金や機会の充実をお願いいたします。
・子どもたち中心の活動だが、学業や部活などとの両立が大変そう。 ・文化の拠点となるブラバホールの駐車場問題。
・単体で発表の場をつくっていく努力は、もちろん必要だが、文化協会主催の発表の場を1年に1回か2年に1回でもつくっていただきたい。
・活動資金を集めること
・定年が60歳の頃は、退職後の活動として色々な団体に入会していた。今は年金が出るのが65歳、70歳までは働くという社会になり、入会する人が少なくなった。このままではどんな文化団体も高齢化が進み、入会者がいないという状態になり消滅してしまう。どうすれば興味をもってもらえるか悩みつづけている。
・会員の高齢化 ・住民の伝統文化への意識の低下
・市花(椿)の保存場所の確保(山陰で発見された貴重品種を保存・展示する)
・神事を含めた伝統文化と、文化芸術と一緒に考えることは難しいと思う。伝統文化に関しては、将来の担い手を育成・確保することが大事だと思う。
・地域の人口と若者の協力・活力・参加が課題 ・団体に頼る発表会からの脱皮。(参加料負担を外せるような市の行政の取り組み) ・ダイドウなどの企業への助成金依頼の増加